

二 冬の前の日

原曲…人恋し神様 〱 Romantic Fall

稲田姫様に叱られるから

今昔幻想郷 〱 Flower Land

「紅葉と豊穣がよく似合っている」と

悠然に流麗に浮き上がっていたね

夕景も丁重に引き払って溶ける

曖昧な情景も振り払って

ゆらりゆらり暮れに灯る光

ふわりふわり風に踊る匂い

明日を祈り巡る果ての欠片も早々過ぎ去る

きらりきらり明けに玉の雫

じわりじわり色の抜ける穂先

枯葉積もる道を進むあなたは何処に帰るの

理は

似て非なる

重なれど交わらない視界を借りて

酌み交わそう

踏み鳴らそう

月夜もきつとなぞらえる花に変わる

東の方

陽が血を問う

命を乞う身と知るまでの間 わずか

濁しましょう

逃がしましょう

一回りする頃に再び会いましょう

紅葉と豊穣に輝く目

それは瞬間の肯定と気付いたって伏せる

永遠を真剣に望んだって

きつと陰険な妄想を分かち合っているだけ

乾きゆく世界に二人

取り残されるようで落ち込むけど日々は続く

凍えようが駒は進む

幕間の繰り返しでも確かに在るのだから

儂くとも彩るのみ

燃えるように鮮やかに

理は

似て非なる

重なれど交わらない視界を借りて

酌み交わそう

踏み鳴らそう

月夜もきつとなぞらえる花に変わる

東の方

陽が血を問う

命を乞う身と知るまでの間 わずか

濁しましょう

逃がしましょう

一回りする頃に再び会いましょう